

令和7年3月

保護者・地域の皆様

令和7年度に向けた改善方策

世田谷区立武蔵丘小学校
校長 今宮 直樹

令和6年度の学校関係者評価を踏まえ、令和7年度の改善方策を下記のとおり設定します。

記

重点目標

1 キャリア・未来デザイン教育の一層の充実

・重点目標にした理由：

「キャリア教育」に関する児童の評価が70%の肯定回答に対して、保護者からの肯定的評価は50%。保護者への周知が必要。

【具体的な取組】

- ・児童においては、キャリア・未来デザイン教育につながる「せたがや探究的な学び」及び「むさし探究的な学び」の実践において、一定の学習効果をあげている。引き続き、めあてを振り返り、見通しをもって自己実現できる力を育てていく。
- ・保護者においては、「キャリア」を将来の夢や職業限定として捉えられる傾向が見られた。そのため進学や将来を見据えた高学年の評価は高い。一方その他の学年においては低い回答であった。目標をもち、目標への達成の道筋や積み重ねがキャリア教育の大切であることを、児童のみならず保護者へも伝えていく必要がある。
- ・保護者と児童が連携をしている「キャリア・パスポート」をより活用していく。
- ・キャリア・未来デザイン教育の理解を得るため、ねらいと活動の内容、人材の活用、ホームページへの掲載や保護者会や学校だより等で周知していく。

2 学び舎の中学校に関する情報の提供

・重点目標にした理由：

「学び舎の区立中学校について情報が提供されている」の保護者による肯定的評価が31%。保護者への周知が必要、

【具体的な取組】

- ・本校においては、中学生が運動会のボランティアに参加したり、職業体験で来校したりしている。周知する機会を逸することが多いので、積極的に周知していく。

- ・年に3回、「学び舎の日」があり、小中の教員が、烏山地域の子どもたちのために授業や会議を行っている。年度当初の保護者会では伝えているが、その様子をホームページや学校だより等で、発信を意図的に多くし、随時保護者に伝えていく。
- ・中学生生徒会が「学校説明会」として11月に来校し、プレゼンテーションをしている。また部活動体験についても内容について保護者に伝えられるとよい。
- ・小学生には、中学校への見通しをもたせるため、キャリア教育との連携を深める。